

中期目標 第 2 (1) 指標②「成人移行期支援外来受診患者数(実人数)」については「(延人数)」が適切と考えます

【理 由】

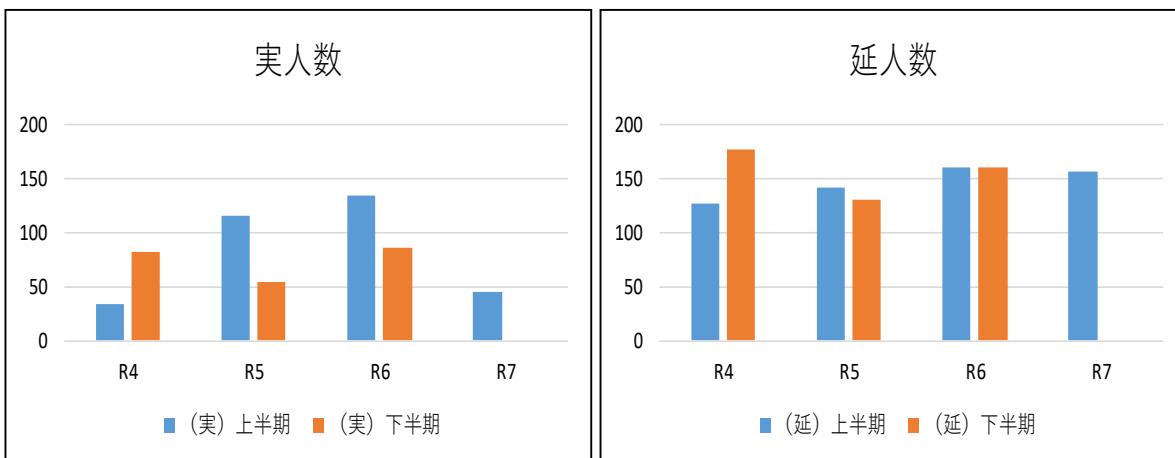
1 通常の外来スタイルとは異なること

- ・ 成人移行期支援外来は、院外からの紹介を受けて成人移行先を斡旋するものではなく、対象となる院内患者に医師だけでなく多職種で関わりながら、家族にその必要性を理解していただき、時間をかけて準備していく場であり、その過程を示す指標としては、「延人数」がふさわしいと考える。

2 「延人数」は多様な支援を反映する指標としてふさわしいこと

- ・ 年齢（学年）や環境、病態が異なる患者への支援であり、内容、1人当たり回数ともに様々である。
- ・ 移行期支援は、「実人数」の増を目的とした取組ではなく、心身の成長にあわせた自立に向けたサポートであり、その活動を評価する指標としては「延人数」が適切である。

3 「実人数」は時期によってバラツキが大きいこと



4 「延人数」は簡易に算出できるため利活用しやすいこと

- ・ 「成人移行期支援委員会（当院で毎月開催）」では、患者支援に関する方策や移行プログラム、外来運営等の検討資料として使用している。